

貞享元年 奥州山崎平住人
十月吉日

いわき市勿来関文学歴史館令和二年度第二回企画展

刀・刀・刀

くいわきの刀剣く

会期

9月19日(土) ~ 11月17日(火)

休館日 10月21日(水)

主催：いわき市勿来関文学歴史館
協力：藤安将平（将平鍛刀場刀匠）



●観覧料は次の通りです。
※カッコン内は20名様以上の団体料金

一般	330円 (280円)
大高中	220円 (170円)
小学生	170円 (110円)

※無料になる場合
・市内に住所を有する65歳以上の方
・身障者手帳・療育手帳・
精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方
・市内の小・中・高・専修・高専生（土曜と日曜のみ）



開館時間 9:00 ~ 17:00 入館は 16:30 まで

なこそそのせき

いわき市勿来関文学歴史館

〒979-0146 福島県いわき市勿来町関田長沢6-1

Tel: 0246-65-6166 Fax: 0246-65-6167

Email: bunreki@nifty.com

刀銘 根本和泉守藤原國虎（個人蔵）

日本刀

とは、日本固有の鍛冶製法で作られた刀類の総称である。

日本では古墳時代以前から刀剣類が製作されてきましたが、直刀という反りのないものが主でした。直刀から反りのある湾刀へ移行したのは、平安時代中期（十世紀末）以降と考えられています。日本刀は、その時代の戦闘様式の変遷とともに大きく変化しながら現代まで受け継がれてきました。現在、日本刀は武器でありながら美術品としても高い評価を受け、今なお老若男女を問わず多くの人に愛されています。

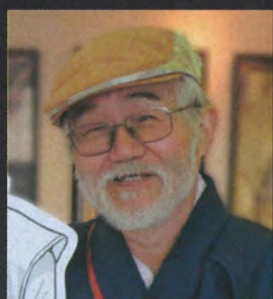
いわき市では、江戸時代に複数の刀匠が活躍しました。磐城平藩お抱えの刀匠であった根本和泉守藤原國虎や鈴木加賀守貞則などです。彼らの作品は、現代まで大切に受け継がれています。

本展では、根本和泉守藤原國虎をはじめ鈴木加賀守貞則、藤嶋友重などいわきで活躍した刀匠の作品を中心に、県指定重要文化財「太刀 無銘 一文字」

など、いわき市内で受け継がれてきた刀や赤羽刀、計八振を展示するとともに、日本刀の歴史について紹介します。



太刀 無銘 一文字（個人蔵）



協力：藤安将平（ふじやすまさひら）

福島県伊達郡出身。昭和41年、高校3年生のときに刀匠・人間国宝の宮入行平氏に師事。昭和51年、独立し福島県福島市立子山に鍛刀場を構える。以後、作刀研究を重ね日本美術刀剣保存協会にて受賞多数。熱田神宮、奈良県護国神社、鹿島神宮など多くの神社で奉納鍛錬を行っている。

平成28年に「刀剣文化研究所解紛塾信夫会」を発足。初心者向けの勉強会の開催やイベントでの講演など、福島県を中心に日本刀について伝える活動をしている。

◆会期中のイベント

※イベントは、状況に応じて中止または内容を変更する場合がございます。

◆対談

「いわきの刀工の作風」

お話し：藤安 将平 先生（将平鍛刀場刀匠）

吉田 秀享 先生

（公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部

副部長兼調査課長）

日時：9月20日（日） 14時～15時30分

会場：体験学習施設「吹風殿」（当館に隣接）

定員：25名（要申込・先着順）

※メールかお電話にてご予約ください。

※当日は必ずマスクをご着用のうえご参加ください。

◆刀剣解説ビデオ上映

お話し：藤安 将平 先生（将平鍛刀場刀匠）

会場：当館1階 休憩スペース

藤安将平先生に、展示している日本刀について解説していただいたビデオを上映します。

※ソーシャルディスタンスを保ってご鑑賞いただきますようお願いいたします。

◆ギャラリートーク

日時：10/11（日） 11/8（日） 14時～14時30分

場所：当館2階 企画展示室

当館学芸員が展示内容について解説します。